

Vol. 16 R5.7.14 『防災講演会』 常願寺川と立山の砂防事業について学ぶ！



7月14日（金）に、岩嶽寺公民館にて『防災講演会』が開催されました。この講演会は、地域の防災に関する啓蒙活動の一環として立山地区ふるさと活性化推進協議会が主催したもので、立山砂防事務所職員が講師を務め『常願寺川と砂防』というテーマで講演を行いました。今年は6月から続く大雨の影響により、県内各地では浸水や土砂災害など甚大な被害に見舞われています。参加者の皆さんの中には被害を受けた方もおられましたが、この講演で土砂災害や常願寺川の特徴について学び、立山の砂防事業に関する理解を深めていただきました。

防災講演会

日 時：令和5年7月14日（金）

18:30～19:30

場 所：岩嶽寺公民館 2階大ホール

主 催：立山地区ふるさと活性化推進協議会

講演目次

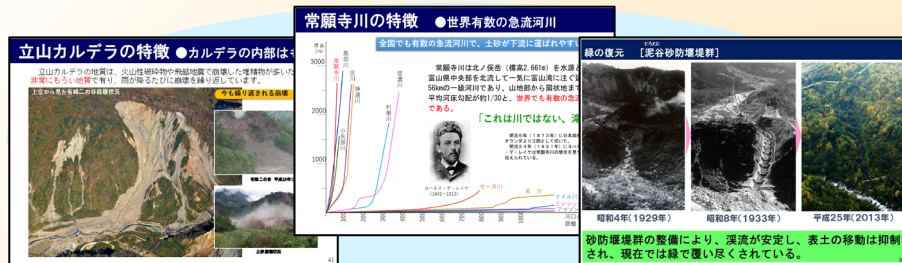
参加者
約30名

1. 土砂災害とは
～災害大国と呼ばれる理由～
2. 砂防とは
～砂防堰堤の働き～
3. 常願寺川の特徴
～急流河川と立山カルデラ～
4. 砂防事業の開始
～安政5年→県営→国直轄砂防～
5. 直轄砂防の取り組み
～後世に残る取り組み～



講演 立山砂防事務所
村元調査課長

立山砂防事務所では、富山平野の安全を守るために
今後も砂防事業に取り組んでいきます！



◇参加者からの質問◇

Q：計画基準点とは何ですか？

A：保全対象区間の上流などに置く砂防計画に必要な地点のことです。



積極的に質問やご意見をいただきました！